

今回の出陣は竹田城!!



オマメは、
※豆知識 a=ヒトよ!

むっぴのオマメ

城の縄張りが虎が臥せているように見えるから、別名「虎臥城」と言うんだって!

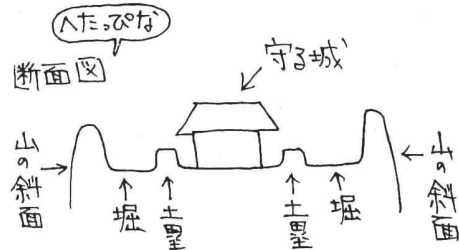
何に見える? 私には翼を広げた鷹に見えるなあ...



土塁と堀

ちよこと解説

お城を守るために土塁と堀を作って、お城の周りを囲みました。



堀を掘った土を積み上げて土塁を作りました。山の斜面を登って、堀を通って来る敵を土塁の上から攻撃しました。堀に水を張って水堀にして、敵が通れなくすることもできます。

縄張図

①この図の中にある、これらの棒のようなもの。これは「堅堀」と言って、山の斜面にタテに掘った溝です。斜面を登りにくくし、敵の侵入を防ぐためです!

上から見るとよく分かるよ。

これを手で掘ったなんてオドロキ!!

②井戸

山城にとって水は生命線!

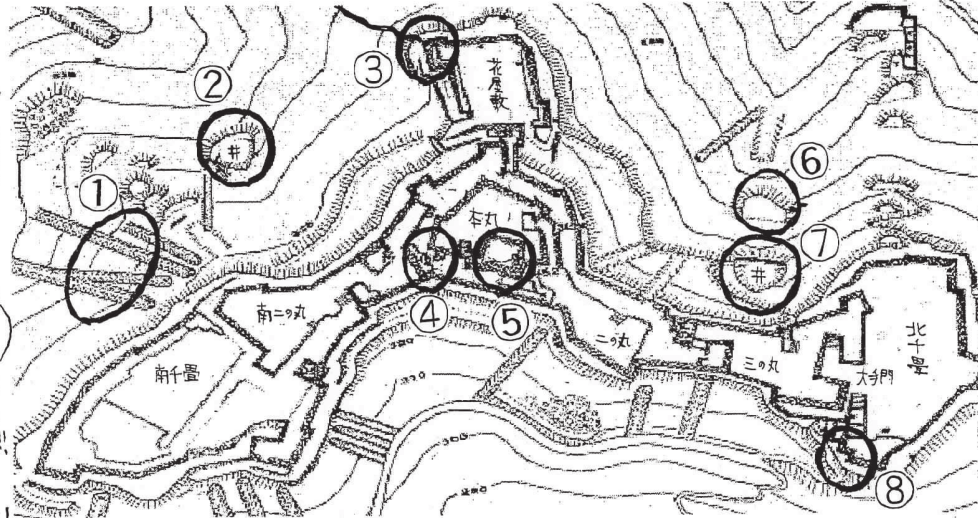
上から見るとこんな石垣が発見!!

④ さかしてみて!

石垣の上から敵を攻撃しました。

敵は、ジグザグに走らなきゃいけなかったから、すく逃げてくれたらうね。

⑤天守が建っていた土台の石垣。「天守台」と言います。



今でもハイキングコースとして使われているよ

③搦手口。「からめてぐち」と読みます。裏口のことです。

下まで歩いてみるのもいいかもね!

⑥これらの記号は平らになってる所です。

見張りのやぐらとかあったよ

⑦井戸

木のすき間から井戸らしきものが見えるよ!

⑧大手口。正面口のこと。

今でも竹田駅に向かう道として残ってるよ

縄張図

ちよこと解説

城の図の設計のことを縄張図といいます。城に行くときは縄張図を持っていかないと、何だかわからず、ただの山歩きになってしまいます。



想像が膨らむね

縄張図があると、繁は倍増だよ! 昔の名残を探そう!!

石垣の上から山を見下ろして、自分だったらどこから攻めるか考えると面白いかも!! どれも斜面が急で登って攻められると思えない!!

私だったら北側の花屋敷かな



<< むっぴ Wiki >>

南北400m、東西100m、標高353.7mの山城です!! 築かれたのは1430年ごろ? 詳しいことは分かっていません... 1467年に日本中を巻き込んだ応仁の乱のゴタゴタが始まると、播磨の国と但馬の国の国境にある竹田城は出撃の重要な拠点になったのであります! そのあとも色々あって... 1577年には織田軍が攻めてきて、竹田城で3日間の戦闘が行われました。さらにそのあと、織田側の城になり、秀吉の弟、豊臣秀長が城主になったり... そんなこんなで、1600年関ヶ原の戦いを迎え、竹田城は豊臣方の西軍に属していたため廃城となってしまいました。

廃城から400年も経つのに、当時の石垣が残ってるなんて!



うむ

城ぶりに農民が狩り出されて、田んぼに松が生えちゃったって!!

石垣の上に建物が建ったと見て叶たかなあ。

今の竹田城の姿になったのは、1590年頃。豊臣による改修です。

竹田城から15km離れた所に生野銀山があります。1567年に書かれた文献によると、「銀の出ること土砂の如し!!」この銀山を守るためにも竹田城は、とても大事な城だったんだろうね。

日本どころか世界でも有数の山城!! 雲海だけを目当てに大事な遺跡を踏み荒らさないで欲しいと七かに願います!!



オネガイよ